

# やってきた 業界再編の高波

## 薬業界プレゼンテーション (10~13ページ)



大日本製薬と住友製薬の合併発表



特定領域に強い製薬会社を目指すあすか製薬

### 規模や知名度よりも大切なもの

「製薬業界、再編時代迎える」などのタイトルで、合併やリストラのニュースを耳にすることも多いだろう。この動きに夢を持つか、あるいは怖さを感じるか？名の知れた大きな会社ならという思いもあるかもしれない。だが、踊らされることはない。規模や知名度よりも大切なものがある。患者が欲している薬剤を研究開発し、手元へ届けるといふ製薬会社の本業に根ざした会社なら、患者のために働ける場所はいくらかでもある。

昨年合併新会社が相次いで誕生した。アステラス製薬、第一三共、大日本住友製薬、あすか製薬。どちらかというと、前2社が国際ビジネス志向、後の2社が国内ビジネスの基盤固めだ。ここに合併の背景が現れている。どうということか。製薬会社の収益源のほとんどは、保険医療で用いられる医療用医薬品だが、その国内市場はここ10年、6兆円台で停滞、ほとんど成長していない。さらに、薬剤費を手当てする医療保険財政が厳しく、政府はさらなる抑制を狙っている。

国内製薬会社の数と国内市場の大きさが、釣り合わなくなってきており、生き残りのた

めに再編が必要になってくる。製薬会社がどう収益を上げているのかというと、大手企業は半分近くが欧米など海外の市場からだ。つまり大手は、伸び悩む国内売り上げを海外の伸びで補う戦略である。国際的には、世界市場の半分近くを占める米国が中心。しかも競争相手は、日本の大手の数倍もあるファイザーなどの巨大企業だ。競争に勝つため新薬を出し続けるには、最

### 患者の満足度を高める会社こそ

そんな中、世界を目指す会社では、アステラスの竹中社長が、泌尿器、移植、循環器、感染症の領域で「勝ち残り」を目指すと言。第一三共の庄田社長は、「ファーストインクラス（世界初）、アンメットニーズ（医療需要の未充足）といった領域に取り組んでいく」との姿勢を示す。

新薬メーカーが加盟する日本製薬工業協会の青木会長は、患者の満足を満たす新薬なら、患者数が少なくても大型製品になるという「ニッチブロックバスター」出現の可能性を指摘する。浮かび上がるのは得意領域を持ち、

低でも年間に約1500億円の研究開発費が必要といわれる。売上高に占める研究開発費を15%前後とするなら、必要な売上高は1兆円。アステラスや第一三共が、当面1兆円程度の売り上げ規模を目指して合併したことには、そういう理由がある。

### 大きいことが本当に良いのか

何だか、大手以外の国内企業に対して、将来的な不安を感じるかもしれない。でも、心配はいらない。中堅企業でも、国内市場できちんと業績を伸ばしている会社があるからだ。いわゆる「選択と集中」で、得意な領域、技術を持つ会社は伸びている。

例えば骨領域では帝国ファーマ、点眼剤の参天製薬、鎮痛消炎貼付剤の久光製薬。帝国臓器製薬とグレラン製薬が合併したあすか製薬は、消化器、泌尿器、産婦人科、耳鼻科に強い会社を作ろうとスタートを切った。また、後発品（ジェネリック医薬品）で経営の安定を図ろうとする会社もある。日本ケミファ、杏林製薬、科研製薬などがそうだし、最初からジェネリック一筋で業績を伸ばしてきた会社もある。

一定以上の規模を持つ必要性はあるが、ファイザーやメルクほどの大きさが必要かは、懐疑的な見方が出ている。継続的に新薬を出し続けることが難しくなっているためだ。アメリカ大手8社の平均研究開発費は、1996年と2003年で比べると、2倍以上に増加しているのに対し、FDAの新薬承認件数は半分以下の20程度と減少傾向にある。

それを生かして患者の治療に貢献する企業像だ。

患者の医療満足度が低い病気は多い。癌、アルツハイマー、糖尿病関連疾患、尿失禁、過敏性大腸症候群……。患者数が少ないと採算性が問題になるが、一定規模の領域に主力品を持って収益を確保し、患者数は少なくても、待望の新薬を提供していけることが理想ではある。

どんな得意領域を持って収益源とし、将来の新薬候補を後期臨床試験にどの程度ラインアップさせているか（ホームページで見られる）が、会社の姿勢、方向性を示すといえる。規模の大小ではない。

## T-CRO 私達は大学発バイオベンチャー企業を応援しています。

東京CROは高信頼度CROです

当社は、医薬品・医療機器関連業界の皆様へ各種のサービスを提供するCROとして広い分野に専門家を配しております。さまざまなお客様のご要望に応じ、専門的で経験豊かなスタッフが下記業務を科学的かつ倫理的な判断に基づきお応え致します。

- 臨床試験サポート・モニタリング（第I、II、III及びIV相）
- データマネジメント及び解析
- 薬事・医療機器コンサルティング及びプロジェクトコーディネーション
- GLP、GMP、GCP、GPSP等の整備・監査
- 薬事承認申請関連業務
- 国内管理人
- 医薬品及びメディカル関連教育セミナーの開催等

### ◆求人案内 一業務拡大に伴い、新戦力を求めています。一

求人：CRA (Clinical Research Associates)  
CRC (Clinical Research Coordinators)  
MR (Medical Representative)、QC・DM  
薬事申請関連業務担当者（団塊の世代/60歳以上歓迎）  
臨床統計解析担当  
薬事担当（団塊の世代/60歳以上歓迎）  
メディカルライター（MW）

資格：臨床試験開発経験者、薬剤師、看護師  
臨床検査技師、MR認定資格者、MR経験者  
QC経験者、DM経験者、統計解析経験者

応募方法：履歴書と職務経歴書を郵送して下さい。  
（応募の秘密は守ります。）  
詳細はホームページをご覧ください。

## 東京CRO株式会社

E-mail: info@cro.co.jp URL: www.cro.co.jp  
 姉妹会社：東京メディカルCRO株式会社 東京SMO株式会社  
 東京CSO株式会社 東京BIOMEDICALS株式会社 北京CRO有限公司

本社：〒112-0004 東京都文京区後楽2-1-3 東急飯田橋ビル  
TEL.03-3868-7200(代表) FAX.03-3868-7201(代表)

大阪支社：〒541-0046 大阪市中央区平野町4-2-16 日鉄御堂筋ビル8階  
TEL.06-4707-3381(代表) FAX.06-4707-3382(代表)

札幌事務所：〒060-0809 札幌市北区北9条西3-1-1 タカノビル4階  
TEL.011-700-6311 FAX.011-700-6312

福岡事務所：〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24大博センタービル11階  
TEL.092-433-1111 FAX.092-433-1120